

## 自然エネルギー:ミニ学習(76) 孫正義氏が提唱するアジア・スーパー・グリッド構想

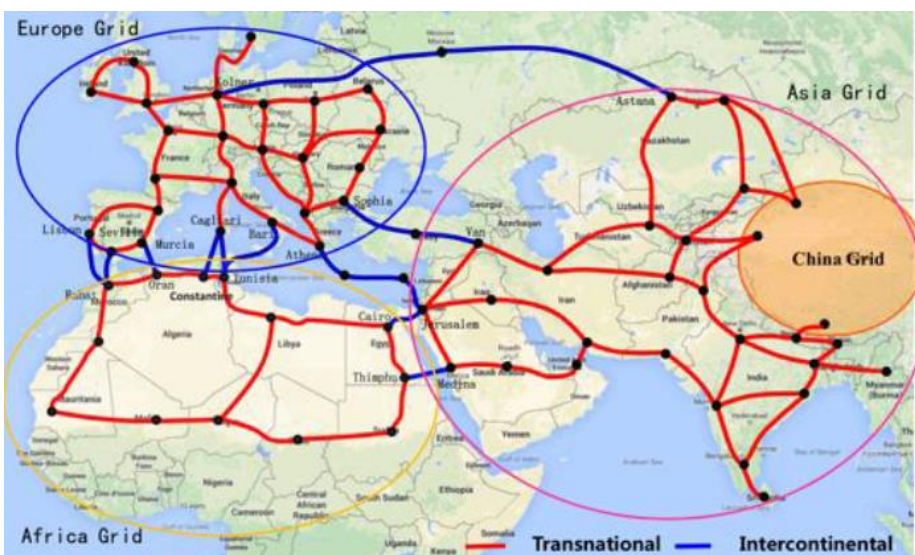
文責 宮井

### (一) 自然エネルギー財団を設立した孫正義氏

1980年代には一介のコンピュータ関連業者に過ぎなかった孫氏は、30年を経て周知のようにIT事業を成功させ、有数の大富豪になりました。3-11の事故で、原発の危険を知り、新エネルギー市場に参入しました。以来、事故被災者に役員報酬を寄付しているだけではなく、自然エネルギーを発展・普及させるための啓蒙・研究活動にも個人資金を投じています。それが2011年に設立した自然エネルギー財団です。過去、私たちの会報に載せた情報のなかにも自然エネルギー財団の研究活動による情報もいくつかあります。初期に孫氏は「10年で年商500億の会社にする」と豪語し、「非現実的な法螺話」として去った側近がいましたが、実現させました。孫氏は、3・11事故を受けて「原発によらず世界中の人がエネルギーで困らない未来」に向けて当初から大規模なエネルギー構想を提唱していました。それが「アジア・スーパー・グリッド構想」です。孫氏の活動には「反原発は表向きの姿」といった批判もありますが、その先見性と実現力には驚嘆すべきものがあります。9月9日の財団設立5周年シンポは「世界中の電力網に自然エネルギーをつなぐ」として開催されました。一端を紹介します。

### (二) 電力網(連携線)を強化、広域化することはエネルギー供給の安定につながります。

すでに学んできたように、自然エネルギーの条件は、地域性があり、「地産地消」が叫ばれる一方、電力網(連携線・グリッド)が充実していればいるほど、余った際には他地域で有効利用され、足りない場合には他地域から供給を受けることができます。欧州や北欧で自然エネルギーの普及が進んでいる背景にはグリッドの充実があります。今、世界は国際的な協力で、グリッドを充実させようとしており、そのための技術的な開発が進められています。知られているように、電気はケーブルで遠くまで運ぶほど熱損失等で失われます。高圧にすればするほど損失は少なくなるので、最近では損失の少ない高圧直流送電が一般的になり、国内でも採用されています。(2019年に本州と北海道を結ぶ線が90万kwに増強) 2015年には電力技術のリーダーのABBグループは、ノルウェー・デンマーク間の海峡を結ぶ直流送電(HVDC)を50万ボルトの高圧で行い新記録をつくりました。また英仏海峡に海底送電線を敷設する国際連系線プロジェクトが始動しておりこの海底送電線は、イングランド南部とフランス北部を結ぶ全長約240km、送電容量は最大200万kWであり2021年に完成を予定しています。これらの技術は落雷時に瞬時に直流を遮断する技術などに支えられています。このようにして世界を繋ぐグリッドは大陸を超えて広がりつつあり、不安定な自然エネルギーもこのグリッドのなかで有効取り込まれます。

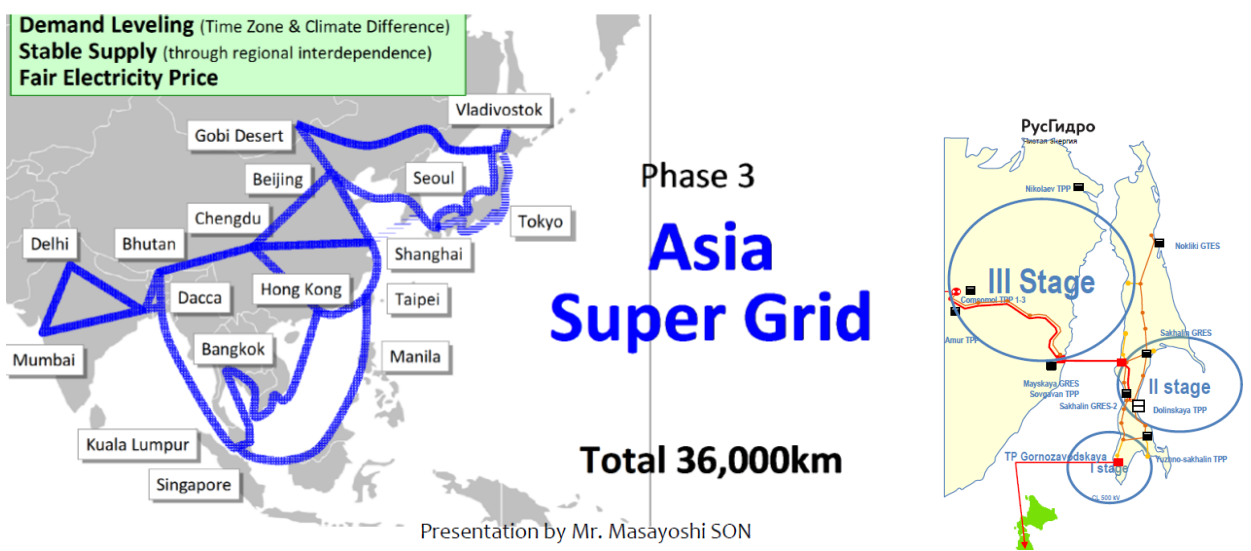


(シンポでの田中伸男氏スライド)

中国の習近平主席は2015年9月26日の国連総会で中国のグリッドを欧州圏に繋ぐ global electric interconnection(GEI)構想を提案し国連はクリーンな持続可能なエネルギー世界に向かうものとして歓迎しています。

(三) 電力網(連携線)を強化、広域化することはエネルギー供給の安定につながります。孫氏はすでに2011年に提案していましたが、島国である日本と韓国、ロシアと海底ケーブルでつなぎ日本のグリッドをユーラシア大陸に繋ごうという構想です。

“Energy for Peace in Asia” New Vision?



アジア・スーパー・グリッド構想

具体化するロシア側の準備

ソフトバンク系のSBエナジーは、日本国内に33の自然エネルギーサイトを持っていますが、すでに風が強いゴビ砂漠付近のモンゴルに7GWの発電能力をもつ土地の使用権を向う100年にわたって確保しています。この電気を日本にも運ぼうというのです。構想の提唱以来、中国、韓国、ロシアの国家及び電力関係者と交渉を重ねており、ロシアはこの計画を前提にしたロシア側の基地の建設を2025年までに終える計画を公表しています。そして2016年3月30日にロシア・グリッド、韓国電力公社、中国電網会社と国境を超えた海底ケーブル敷設の事業化調査につき合意をし、北東アジアの豊富な自然エネルギー源でつくった電気を相互に融通しあう事業を順調に行けば2020年には着手する予定です。

(四) エネルギーについての大きな合意は国際平和への貢献になります。

「日本、中国、韓国が仲良くする(アジアスーパーグリッド)なんてあり得ない」という雑音は提案当初からありましたが、当事者間の調整と具体化は着々と進んでいます。エネルギーに関する有力機関・企業の合意が政治の世界にもよい影響を与えて、地域平和、国際平和を促進するということはありません。現在、ともすれば中国や北朝鮮の動きを巡ってナショナリズムを煽る論調が盛んですが、エネルギー問題はナショナリズムでは解決できず、自然エネルギー源は本来、国境を超えたグローバルなもので誰もが等しく恩恵を受けるべきものです。孫氏の今後の奮闘に期待したいものです。



(五) 参考

① [http://www.renewable-ei.org/activities/events\\_20160909.php](http://www.renewable-ei.org/activities/events_20160909.php) 5周年記念シンポのサイトで当日、用いられた映写資料のほとんどをpdfファイルで見ることができます。